2018年（平成30年）5月14日　月曜日　第640号（毎週1回発行）

本新聞はヤマト運輸(株)に委託して、ポスト投函方式でお届けしています。（郵便物ではありません）

パチンコ・パチスロ業界最新情報

週刊アミューズメントジャパン

Weekly Amusement Japan
2018年（平成30年）5月14日 月曜日

編集・発行所　株式会社アミューズメント プレス ジャパン　〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-21-10 えびすアシスト5F　TEL.03-5447-0555　http://www.amusement-japan.co.jp

Weekly Amusement Japan
©2018 Amusement Press Japan Inc.
editing & publishing
Amusement Press Japan
planning & production
Amusement Promotion
printing
Four Plus One
年間購読料27,000円（税・送料込）
本紙記事の無断転載を禁じます。

おかげさまで創立20周年
APJ 20th
ESTABLISHED IN 1998

今週の紙面から

爆盛りカツ丼はじめました
『CR今日もカツ丼』
豊丸産業　2面

10年間ありがとう!
ザ・レジェンド・チャリティプロアマトーナメント
大会ラストは今平プロが優勝　2面

IR誘致気運高まる大阪
関西でIR展示会　2面

初の管理遊技機対応ユニット
ハイライツ・エンタテインメント　2面

年間拠出総額14億円
全日本社会貢献団体機構　2面

5月から巡回強化
回胴遊商　2面

newgin group　3面

YAMASA AMUSEMENT FACTORY　4面

RSN

年間相談件数が倍増 17年電話相談事業を報告

ぱちんこ依存問題相談機関のリカバリーサポート・ネットワーク（RSN）が2017年の電話相談事業報告書をまとめ、4月24日に開催された全日遊連の全国理事会で報告した。

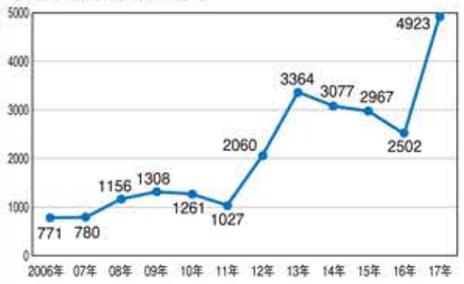
報告書によると17年1月から12月までの電話相談件数は4923件で、前年の1・97倍だった。内訳は沖縄RSNが3832件、全商協RSN支援室が719件、夜間対応が372件。夜間対応を始めた17年11月は、月間相談件数が初めて500件を超えて過去最多だった。

沖縄RSNが受けた電話相談のうち初回相談件数は3219件だった。相談者本人からの電話が81・0%を占め、家族・友人によるものは18・6%。相談者の年齢分布は20代、30代、40代の順で多かった。

相談経路は多いものからホール内ポスター（54・0%）、インターネット（27・4%）、その他（7・6%）の順で、ホール内ポスターの比率は前年より11・1ポイント高まった。

RSNは相談件数が増えた要因として「業界による活発な啓発活動」「出向者のRSN赴任による相談体制の充実」「いわゆるギャンブル依存症についてのマスコミ報道の増加」を挙げ、「啓発ポスターの貼付は来店客に直接訴えかける効果があり、電話相談の促進要因として非常に有効」と分析している。

年間の電話相談件数推移



マイクロバスを寄贈
岩下兄弟

寄贈したマイクロバスは被災地支援などに役立てられる。写真中央が岩下社長

「モナコパレス」「銀馬車」の屋号で熊本と宮崎にホール25店舗を展開する岩下兄弟（熊本県人吉市）は3月26日、傷病者の搬送や被災地への派遣などを助けるため熊本県の人吉下球磨消防組合に災害救援用のマイクロバス（日産シビリアン29人乗り）を寄贈した。

贈呈式には同社の岩下博明社長らが出席。テープカットなどを行った。その後、消防組合の中山哲臣消防長から感謝状と記念品が贈呈された。

外国人留学生を支援
大遊協財団

大阪府遊協を母体として設立された大遊協国際交流・援助・研究協会は4月9日、ホテルプリムローズ大阪で2018年度奨学金受給証書交付式を開催した。

同財団の奨学金制度は、大阪府下の大学に在籍する留学生を対象としたもの。募集は大学を通じて行われ、大学から推薦を受けた留学生に対して同財団が面接などを行い、給付生を選定する。学部生に月額5万円、院生に月額7万円の奨学金が支給される。18年度の奨学金交付は、中国や韓国、ベトナムなどの8カ国新規14人、継続者16人、合計30人。

留学生に対して同財団の高島洋理事長は、「皆様には留学生活で得られた貴重な経験と知識を活かし、将来日本と母国の架け橋となってもらいたい」と語った。

ゴールデンウィーク営業

業績は前年並みを維持

祝日の日並びも良く、全国各地で旅行客数は前年よりも増加した今年のゴールデンウィーク（GW）。レジャー施設の集客も好調だったようだ。そんな中、パチンコホールの集客はどうだったのか。GW期間の営業を振り返るとともに、今後の展望を探った。

今後の課題は4円パチンコ

ホール関係者にGW営業について聞いたところ、地域・立地などによって評価は分かれたものの、概ね「前年から微減した」といった声が大半だった。

「稼働・粗利とも前年比で95%程度。元々の計画でも前年並みの粗利を確保することは難しいと考えていたので想定通り」

「普段の土日の稼働が続いた。GW期間だけを比べれば昨年の方が良かった。日並びの良さから、家族を持つサラリーマン層などの来店が少なかった。若年層や単身世帯の来店が目立った」

DK-SISでGW期間（4月28日～5月6日）の全店業績を見ると、稼動時間・粗利ともに昨年よりやや下落した。遊技料金別では、4円パチンコ、20円パチスロは微減したが、20円パチスロのアウトの下落幅は小さかった。20円パチスロは時間粗利が30円減少した一方、4円パチンコの時間粗利は10円増加した。

DK-SIS室の片瀬宏之室長は「時間粗利が抑えられた点が、パチスロのアウトの下落幅が小さくすんだ要因のひとつだろう。4円パチンコと20円パチスロとの時間粗利差が430円に広がっており、今後さらに遊技機の出玉性能が低くなることを考えると、パチンコは時間粗利を改善しなければ、アウトを下げ止めることは難しいだろう」と指摘する。

DK-SIS GW期間データ（2014年～2018年）
※GWデータは2014～2016年は4/29～5/6の8日間
2017年は暦の関係で4/29～5/7、2018年は4/28～5/6をゴールデンウィーク期間としている

全店

	平日数	稼動時間	対前年	粗利	対前年	時間粗利
2014年	3	5.22H	+0.01H	4,510円	-190円	860円
2015年	2	5.00H	-0.22H	4,330円	-180円	870円
2016年	2	5.12H	+0.12H	4,180円	-150円	820円
2017年	2	4.96H	-0.16H	3,980円	-200円	800円
2018年	2	4.84H	-0.12H	3,830円	-150円	790円

遊技料金別

	アウト		売上		粗利		時間粗利	
	2017年	2018年	2017年	2018年	2017年	2018年	2017年	2018年
4円パチンコ	18,800個	17,900個	27,600円	26,200円	4,870円	4,700円	1,290円	1,300円
1円パチンコ	27,600個	27,100個	9,000円	8,800円	2,100円	2,050円	380円	380円
20円パチスロ	11,300枚	11,000枚	31,900円	30,500円	5,140円	4,890円	900円	870円
5円パチスロ	12,700枚	12,000枚	9,600円	8,700円	1,880円	1,720円	290円	280円

GW期間中の業績を細かくみると、後半の祝日4日間は昨年とほぼ同程度だったが、前半3日間は悪化した。片瀬氏は「昨年の前半は休みが2日間だったのに対し今年は3連休のため、旅行などに出かける人が多かったのではないか」と推測する。

アウトは例年GW初日と5月5日が高い傾向となるが、今年は5月3日がピークとなった（パチスロは5月5日も同アウト）。昨年はパチンコで『CR北斗の拳7転生』、パチスロでは『押忍！番長3』と4月に大型機種が導入されてGW前の大型機種による新台入替はなかった。このことを踏まえると「後半の4日間に昨年と同程度の業績を維持できたということは非常に良い結果と言えるのではないか」と片瀬氏は分析する。

GW後の営業についてホール関係者に聞くと「パチンコ強化」という声が多かった。

「6月にはサッカーのワールドカップがあり、例年よりも厳しい月になるだろう。パチンコではライトミドルやアナログタイプのファンが増え始めている。これらの機種と5月、6月のパチンコの新台を活用し、お盆営業までつなげていきたい」

「パチスロはしばらく旧基準機メインの営業が続くだろう。大きな上昇は望めないが、一定の計算はできる。パチンコは上昇余地が高いと思うので、強化していきたい」

片瀬氏は今後について「パチスロの業績維持とパチンコの業績下落を食い止めることが重要」だとし、次のように提言する。

「パチンコは、稼動貢献の期待できる機種が登場する可能性がパチスロより高い。ただ、GWが明けてパチンコで6機種の新台がSISに登場したが、最も稼動が高い機種が、ファンに最も厳しい活用をされている。長期稼動が期待できる機種かどうかの見極めは必要だが、ファンが喜んで遊技してくれる機種であれば遊びやすい活用にするべき。そういった機種を増やしていくことによってパチンコの業績回復を目指してもらいたい」

6市1町に相撲招待券
神奈川県遊協

神奈川県遊技場協同組合と神奈川福祉事業協会、傘下の3遊技場組合は2月20日、神奈川県藤沢市の藤沢商工会館で同県6市1町に「第26回大相撲藤沢場所」の招待券200枚を寄贈した。このうち64枚が藤沢遊技場組合、大和・綾瀬遊技場組合、座間・海老名遊技場組合によるもの。寄贈先である茅ヶ崎市、綾瀬市、海老名市、大和市、座間市、寒川町の各市長、町長から感謝状が贈られた。

藤沢場所は4月14日に行われた。各自治体を通じて障がい者施設や高齢者・児童福祉施設の入所者が招待され、大相撲の迫力を味わった。

稀勢の里の土俵入り

新基準機『PAナナシーDXⅡ88GO』PB機1000台を6月導入
ダイナム

ダイナムは豊丸産業と共同開発したPB機「PAナナシーDXⅡ88GO」を6月中旬からグループ各店舗に導入していく。同機種は15年8月に発表された「CRAナナシーDX DS」の後継機で、今年2月1日に施行された改正遊技機規則での適合を受けた新基準機。スペックは前作よりも当選確率を低く抑えたが、初期投資金額ベースでは前作より少ない金額で遊べる仕様とした。導入台数は合計1000台。認定期間を含めた長期運用を図ることで機械コストを抑制し客への還元を目指していく。

ホール設置後にPB機の長所をファンに伝えていくため、6月5日から8日までの間、静岡県伊東市の研修所にホールスタッフ約100人が集まり、同機種の特徴やコンセプトを学ぶ。研修に参加した従業員は所属店舗のエリアで知識を共有する。この研修の目的について同社では「PB機開発はホール設置がゴールではなく、お客様の支持を得て初めて完成する」としている。

今後はPB機の他法人への導入や共同購買も視野に入れているという。

東日本大震災復興支援 陸前高田市に250万円寄付
ダイナム

ダイナムは4月11日、東日本大震災の被災者支援のため陸前高田市役所を訪問し、全国のダイナム店舗の来店客から募った玉・メダル相当額250万円を陸前高田市に寄付した。募玉・募メダル活動は、2017年9月1日から今年2月28日の間に実施した。

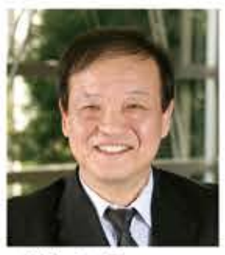
当日はダイナムの藤本達司代表取締役が陸前高田市役所で開催された贈呈式に出席。陸前高田市の戸羽太市長と認定NPO法人ライン311の岡本翔馬代表理事に目録の贈呈と復興についての意見交換を行った。

目録を贈呈したダイナム藤本代表取締役（左）

新 集客の素
連載・第52回

▼▼▼ 遊びをクリエイトするプランナーの視点 ▲▲▲

キャスティング効果


いけざわ・まもる
（株）池澤守企画代表取締役/テーマパークプロデューサー。1979年ナムコ入社。都市型テーマパーク『ナムコ・ワンダーエッグ』『ナムコ・ナンジャタウン』、フードテーマパーク『横濱カレーミュージアム』等、数々の話題施設を成功させてきた。2015年に独立し企画会社を設立。オンリーワン型テーマ空間の企画、プロデュース、コンサルティングを手掛けている。

池澤守企画 代表取締役　池澤 守

顧客がまた来たくなる居心地のよい店舗であり続けるためには、運営スタッフの役割が極めて重要です。接客の質を高めるための切り札が、スタッフの配役を決める「キャスティング」です。

キャスティングとは、店舗の運営スタッフに対して、映画や演劇のように、物語（シナリオ）と舞台設定（ステージング）に基づいた"配役"を行うテーマ型の運営手法です。

その代表格である「ディズニーランド」では、運営スタッフを「キャスト」、来園客を「ゲスト」と呼んでいます。パークはステージであり、従業員は配役された役割をステージ上で演じるキャストであると位置付けることで、スタッフのモチベーションとホスピタリティの質を高めることに成功しているのです。

私がキャスティング法を初めて取り入れたのは、東京・二子玉川に開設した期間限定テーマパーク「ナムコ・ワンダーエッグ」（1992～2000年）の企画のときでした。"ゲームセンターレベル"のナムコの接客水準を"テーマパークレベル"にまで引き上げる必要がありましたが、キャスティングにはそれを牽引する力があると考えたからです。

遊びの社会的地位を高めたいと願っていた私は、施設の舞台を"遊びの神「エルズ」が生み出した遊びの理想郷「エルズ村」"という崇高な存在として設定しました。その上で、この地は全てがアトラクション化された遊び満載の世界で、村の住人（スタッフ）も「アトラクター」と呼ばれる"人間アトラクション"と化しており、夢を求めて村を訪れる旅人「ドリーマー」（来園客）にとても喜ばれている、というキャスティングを行いました。

テーマパークの運営には社員の大半が大きな不安に駆られていました。接客にあたるアルバイトを、求められる水準まで引き上げる自信が持てないと言って泣きだす社員もいたほどです。しかし、キャスティングの効果は絶大でした。基本であるアイコンタクトとスマイルは言うに及ばず、アトラクションの案内パフォーマンスや行列に並ぶ方々と歌う自作アトラクションソングの提案など、人間アトラクションと化したアトラクター（運営スタッフ）の自発的な工夫が次々と生まれていったのです。キャスティングが人を動機付ける威力のほどを実感した瞬間でした。

キャスティングには、マニュアルでは引き出しにくいスタッフのモチベーションアップに加えて、事業経営側の想いや志の共有、自発性や創意工夫の喚起といった素晴らしい効果があるのです。

キャスティングはテーマパークに限らず、他の業種でも効果を発揮します。マクドナルドでは、アルバイトのことを「クルー」と呼びます。ひとつの船で共に働く"乗組員"にたとえることで、店舗スタッフ同士の連帯感を高めているのです。パルコでは、入居テナントを一緒になって目標に向けて取り組む"仲間"だと考え、「イコールパートナー」と呼んでいます。運営スタッフの意味付けが呼び方ひとつで明確になるので、パチンコホールの運営にも応用可能です。

キャスティング（配役）によって、人は舞台となる店舗への愛着を深め率先して役を演じ始めます。キャスティングには、人を共感し行動に誘う魔法の力があるのです。

データ活用で変わる人事業務

HRイノベーション

▼エントリーシートを自動分析
▼データ分析で適材適所
▼笑顔判定で離職防止
▼人工知能技術の進化

都心で味わう新体験
東京ミッドタウン日比谷
TOKYO MIDTOWN HIBIYA

SPECIAL FEATURE Ⅱ
空気環境で差をつける
原則屋内禁煙で変わるホール環境

SPECIAL FEATURE Ⅲ
さらなる節電で経費節減と集客力アップ
スマートコントロールシステム『エコミラ エアー システム』HR

INTERVIEW
元警視総監 日本ソフトインフラ研究センター理事
井上幸彦
歴史に学び、未来に備える

PRODUCTS REPORT
SANKYO『フューチャーエボリューション』
ビーエムジャパン『レンタルコミックサービス』

DESIGNWORKS
ガイア 西船橋店
JP 888
モナコリゾート

PACHINKO・PACHISLOT・AMUSEMENT
経営者の必読誌
Amusement Japan
月刊 アミューズメントジャパン
2018 6

定期購読のお申し込みはお電話またはメールで　TEL.03-5447-0555　mail info@amusement-japan.co.jp